

琉球大学学術リポジトリ

[短報] 新たに確認されたさとうきびの害虫3種

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-01-29 キーワード (Ja): 沖縄, オキナワマダラヨトウ, カンシャヒメコナカイガラムシ, ビワコカタカイガラモドキ, サトウキビ キーワード (En): 作成者: 東, 清二, Azuma, Seizi メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015263 |

新たに確認されたさとうきびの害虫3種

東 清 二

東・大城（1967, 琉農試研究報告3）は沖縄産さとうきび害虫目録を発表し、その中で 12目 56科 172種を扱っているが、その後新たに3種を確認したので報告しておく。

1. *Leucania formosana* Butler オキナワマダラキヨトウ

本種は筆者（1962, 蛾類通信29）により記録され、和名もその時付されたものであるが、1967年5月首里のイネ、および知念村のさとうきびを加害中の幼虫一種を採集し、飼育していたところ本種の成虫が羽代して確認された。成虫、幼虫ともにアワヨトウ *Leucania separata* によく類似し、加害様相も似ているところから今日までアワヨトウの被害と混同してきたうたがいが多い。誘蛾灯での飛来虫数をみるとアワヨトウより個体数の多いことから今後注意を要する害虫だと思われる。

2. *Trionymus diminutus* Leonardi カンシャヒメ

コナカイガラムシ

一般圃場における被害は少ないようである。しかしガラス室、昆虫飼育室においては被害多く、特に幼植物を好んで加害するところから今後育種上問題となりそうな害虫である。1967年9～10月首里で確認した。

3. *Aclerda biwakoensis* Kuwana ビワコカタカイガラモドキ

1968年1月宮古の伊良部製糖KKの棚原清一氏から同定依頼があって、それを北海道大学の高木貞夫博士に同定してもらった結果本種と判明したものである。同年2月宮古平良市高野ではさとうきび1茎あたり200頭以上の寄生がみられ、被害の多いことが予想された。沖縄本島でも個体数は少ないが各地に発生している。石垣島でも1969年2月発生が確認されている。（琉球農業試験場）